【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【公開番号】特開2015-214658(P2015-214658A)
【公開日】平成27年12月3日(2015.12.3)
【年通号数】公開・登録公報2015-075
【出願番号】特願2014-99006(P2014-99006)
【国際特許分類】
*Ｃ０８Ｌ　23/18　(2006.01)*
*Ｃ０９Ｊ　 7/02　(2006.01)*
*Ｈ０１Ｌ　21/301　(2006.01)*
*Ｈ０１Ｌ　21/304　(2006.01)*
*Ｂ３２Ｂ　27/00　(2006.01)*
*Ｂ３２Ｂ　27/32　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　23/18
Ｃ０９Ｊ　 7/02　Ｚ
Ｈ０１Ｌ　21/78　Ｍ
Ｈ０１Ｌ　21/78　Ｑ
Ｈ０１Ｌ　21/304　６２２Ｊ
Ｂ３２Ｂ　27/00　Ｍ
Ｂ３２Ｂ　27/32　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年1月24日(2017.1.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
共重合体（Ｂ）のＪＩＳ　Ｋ７１２７（１９９９）に準拠して測定される２３℃における引張弾性率は、５０ＭＰａ～２０００ＭＰａが好ましく、１００ＭＰａ～１７００ＭＰａがより好ましい。前記引張弾性率が前記範囲であることにより、前記範囲よりも大きい場合に比べてフィルムが拡張しやすく、前記範囲よりも小さい場合に比べてハンドリング性が良好である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４１】
＜合成例３＞重合体Ｂ－３の合成
充分に窒素置換した容量１．５Ｌの攪拌翼付のＳＵＳ製オートクレーブに、７５０ｍｌの４－メチル－１－ペンテンを２３℃で装入した後、トリイソブチルアルミニウム（ＴＩＢＡＬ）の１．０ｍｍｏｌ／ｍｌトルエン溶液を０．７５ｍｌ装入し、攪拌機を回した。
次に、オートクレーブを内温が６０℃になるまで加熱し、全圧（ゲージ圧）が０．１５ＭＰａとなるようにプロピレンで加圧した。
続いて、予め調製しておいた、Ａｌ換算で１ｍｍｏｌのメチルアルミノキサン、及び０

．００５ｍｍｏｌのジフェニルメチレン（１－エチル－３－ｔ－ブチル－シクロペンタジエニル）（２，７－ジ－ｔ－ブチル－フルオレニル）ジルコニウムジクロリドを含むトルエン溶液０．３４ｍｌをオートクレーブに窒素で圧入し、重合反応を開始させた。重合反応中は、オートクレーブの内温が６０℃になるように温度調整した。

重合開始から６０分後、オートクレーブにメタノール５ｍｌを窒素で圧入し、重合反応を停止させた後、オートクレーブ内を大気圧まで脱圧した。脱圧後、反応溶液に、該反応溶液を攪拌しながらアセトンを添加し、溶媒を含む重合反応生成物を得た。次いで、得られた溶媒を含む重合反応生成物を減圧下、１３０℃で１２時間乾燥させて、４５．９ｇの粉末状の重合体Ｂ－３を得た。